

COP10グリーンマップ プロジェクト



活動報告書



グリーンマップを
作ってくれた人

6,048人

プロジェクトに
参加してくれた人

14,905人

2010年10月に名古屋で開催された「生物多様性条約10回締約国会議(COP10)」に合わせて昨年4月、COP10グリーンマッププロジェクトがスタートしました。自分が住む町や近くの自然も、アート角度を捉えて見ることにより新しい気づきや発見があります。それを世界共通のアイコンでマークングし、自分達だけのマップを作ることは、他の繋がりや地域連携を守ることを考えるキッカケになるのではないか。また、世界から会場に集まる人達に出来上がったマップを配ることで、この地域をもっと理解することになると想うのではないか。そしてなにより、この活動が、COP10に市民が参加できる良い機会になるのではないか。このような目的でこのプロジェクトはスタートしました。プロジェクト立ち上がりから1年が経過し、グリーンマップ作りに参加頂いた方は累計6,048人。また、暮らしの中の生物多様性(スポット情報)を寄せてくれた人は312人となっていました。そして、このプロジェクトへの様々な形での参加、ご協力いただき頂いた方々を含めると14,905人となりました。この一年のご協力、ご声援本当にありがとうございました。

ご挨拶とお礼のことば



次のテーマは
「つながり」の質を
磨き上げること

NPO法人
地域の未来・実験センター理事長
藤原嘉之

COP10グリーンマッププロジェクトは、2つの目的をもつて始まりました。ひとつは、この地域でCOP10が開催されることを機会に、この地域の人々が何らかの活動を開始すること。それを入り口としてグリーンマップをツールとしました。ふたつ目は、愛・地図等で生まれた、グリーンマップで様々な活動をしている人たちに対し、継続した活動を促すことでした。テーマを「つながりをつくり、つなげる」としました。その中で、大きな出発点がいたつ、ひとつは、参加の参加です。小学校から大学まで、いままでになく新しい人たちの参加を得られました。ふたつ目は、CBCラジオとの出会いです。CBC新聞の講師事務として、協賛することができました。しかもこの事務は「CBCのグリーンマップ」として月～金の午前は現代のゴールデンタイムに番組として、継続されています。COP10をきっかけに「つながりをつくり、つなげる」ということができました。次なるテーマはこの「つながり」の質を磨き上げることなのだとと思っています。参画頂いたいただいた皆さんありがとうございました。



参加者が
多様性の一環になった
プロジェクトでした

グリーンマップないちディレクター
中川惠子

今回は「暮らしの中の生物多様性」がテーマでしたが、グリーンマップという「参加のツール」としてだけでなく「気づき」や「仲間づくり」のツールとしての有効性がうまく活かされたプロジェクトになりました。メディアのCBCラジオ、万博以外、グリーンマップを通してまたづくり活動をしている人たち、小学生から大学生までの若者たち、フェアトレードなど団体で環境活動をしている人たち、山奥等で活動する人たちなど、テーマの違う幅広い層の仲間が、交流会や展示イベントを通して出会い、それぞれの領域からの気づきを交換しあうことができました。目にとまるものは人それぞれに違っても、そこからみてできることは、つながっていることの不思議や生ぬ(いのち)の多様性の大切さだったはず。今回のプロジェクトでは、参加者が多様性の一環となって、プロジェクトそのものが多様性テーマを表現していたように思います。たくさんのみなさんのお参画、ありがとうございました!



生物の多様性が
私たちの世界を美しく
楽園らしいものに
しているのです

グリーンマップ創造者
ウエンディ・ブラウナー

私たちは全て繋がっているのです。私たちは、同じ空気と水を共有し、同じ地球から資源を奪っているのです。生態の多様性が私たちの世界を美しく楽園らしいものにしているのです。私たちが、そのコミュニティの持続可能で健全な将来を夢に見るとき、この根本的な真理は、すべてのものを超越するのです。地域主義の世界的なグリーンマップ運動は、参加するすべての人々が首尾よくCOP10の目標を達成することを心から願っています。私たちのツールであり、コミュニティ構築のリソースであるグリーンマップは、あなた方が生物の多様性と地域の環境に優しい生物資源について、すべての種に対して観察できるような研究場をサポートできるよう最新の技術をもつために利用することができます。すみ、一緒に地域で、世界で、真にCOP10をこの非常に重要な使命の範囲とするようにしていきましょう。

ウエンディ・E・ブラウナー、グリーンマップシステム創造者(北米、ハーバンバレー・バイオリージョン、マンハッタン島より)

このメッセージはCOP10グリーンマッププロジェクト キックオフ会(7月)に寄せられたものです



グリーンマップが
COP10参加者に
この地域を解り易く
伝えてくれたと思います

COP10実行委員会
事務局長
小林宣司

グリーンマッププロジェクトの面には、生物多様性条約第10回総会(COP10)で協力を頂き、誠にありがとうございました。最近の環境、文化や人々の暮らしの中でオアシスとなる事例を全国に収録するグリーンマップにより、COP10参加者にこの地域を大変理解しやすく述べていただけた、とおもいます。COP10開催期間中には、愛・地図情報発表会での展示、開設及びグリーンマップ全国大会の開催、グリーンマップ創造者のウエンディ・ブラウナーさんをはじめとしたグリーンマップ関係者による生物多様性交流フェアの開催などを通じて、この地域におけるグリーンマップに関する取り組みを積極的にPRされました。また、CBCラジオの協力を得て広く来日の方々へのグリーンマップとCOP10の普及にも尽力いただきました。最後になりましたが、グリーンマップの異なる視点と参加されました皆さまの感想をお読みいたします。

[実行委員会名簿]

[COP10グリーンマッププロジェクト実行委員会] (22名)

- ・石川嘉彦(特定非営利活動法人人工デザイン市民社会フォーラム 事務局長)
- ・石崎博司(中核日本放送株式会社 環境センター 開設員)
- ・井下龍司(一般財団法人セブン-イレブン紀念財团 理事・事務局長)
- ・瀬田昌夫(どまんNakéグリーンマップ)
- ・鶴沢豊(なごや環境大学実行委員会事務局 事務局次長)
- ・鈴川恵子(地域活性化ライン北)
- ・小島哲哉(愛知県環境大学COP10(コミュニティ・コレクション)センター)
- ・朝倉博男(CBD市民ネット 名古屋コーディネーター)
- ・櫻井久次(中核日本放送株式会社 東京局長)
- ・鈴木達夫(愛知県環境アドバイザー)
- ・菅内恒夫(半導体の環境監視員会)

(監修方には個人のお立場でご参加いただきましたがどんな關係の方かお詫びいただきため所蔵・謝書等を記入させていただきました)

- ・土井ゆきこ(名古屋市フェアトレード・タウン化しよう会)
- ・中川惠子(グリーンマップないち ディレクター)
- ・藤原嘉之(特定非営利活動法人地域の未来・実験センター 理事長)
- ・長谷川直樹(牛骨)本放送株式会社 環境センター・ラジオ放送事業部長)
- ・早川広(映像作家活動法人スピーツサポート協会 代表)
- ・林裕樹(中核日本放送株式会社 総務・兼務営業部長)
- ・原田ひとみ(フェアトレードタウンなごや推進委員会 住民人)
- ・三浦勝一(株式会社アクノビジョン 取締役 ラジオ監修)
- ・白石和子(中核日本放送株式会社 ディレクター)
- ・若松満己(グリーンマップ関連企、グリーンマップ大山)
- ・瀧邊義夫(グリーンマップみどり)

新幹線(ひのき)

キックオフミーティング

2010年5月21日
CBC 日曜サンクにて

グリーンマップがCBCラジオとコラボレーション。約100名以上の方にご出席いただき、スタートに相応しい盛大なキックオフ・ミーティングが開催されました。



CBC開局60周年事業のひとつとして「CBCグリーンマップ」が4月から放送を開始いたしました。COP10グリーンマッププロジェクトと共に協力しながらグリーンマップの活動を盛り上げていくスタートイベントとして、CBC放送センターの隣接会館サロン「サンク」でキャラクターデザインが盛大に開催されました。様々な方面から色々な方に参観頂き、お問い合わせ接客や、説明のお世話をいただきました。同会はCBCグリーンマップを放送しています「気分良快!!」から佐田綾子、古川穂里子アナウンサー、鶴狩バーナリティーの多面しげわさんにお願いしました。出席者は以下の店舗です。

く象加音>櫻井久義、佐藤勝、福永泰、足立周一、飯沢伸、高木太士、小林聰之、小林清川、板戸雅興、須崎弘則、小島利範、竹内豊久、藤本己子、角田大治、伊藤龍巳、木村祐哉、山田洋介、中嶋圭祐、山内直子、岡田麿月、鷹野洋子、藤本竜丸、久原茂、名尾信重、中山准史、山口祐司、曾我部恵、藤谷和也、鶴見辰吾、山口尚平、斎藤洋介、藤原さとみ、寺島伸哉、江口拓梓子、阿藤詩音、中山准介、引川正、伊藤慶次、黒川洋輔、鷹野真衣子、中村俊輔、夏目尚樹、三浦朝貴、村野政宏、小久保真喜子、堀江貴美子、石崎純子、遠藤綾輔、寺松真央、内田昌子、浦田豊久、廣瀬經子、前田健二、後藤祐樹、吉田原子、藤田和央、野木大輔、西田由美子、西田一郎、藤井裕紀、伊藤朱里、芦地千重、柄澤のぞ、高橋優理、内村光良、門波丈、東船忍、柳井寿、高橋ひら、高田かずや、藤戸千帆、橘子留美、森田ゆなみ、福島莉音、藤原和紀、青柳真紅奈、伊藤原虹、フジイサヤカ、植木ユサト、井上翠之丞、柴田ひづる、田下悠、レポートドライバーの船さん

之主客也。小國則以是爲日，大國則本朝在是日，無事者，常置於太子中舍郎司，物無害之，主客謂一

情報交流会

2010年5月6日、6月3日、7月2日
7月23日、8月10日、9月3日、10月1日 新東通信にて
2011年3月4日 世耕の未来・支援センター事務所にて

COP10に向けた、毎月の定期的な情報交流会がマップ作りと参加者の気持ちを盛り上げていきました。

4月にCOP10グリーンマッププロジェクトが立ち上がり、事務局では色々な方々にご協力ををお願いし、同時にグリーンマップ作りに参加される方々も増えています。

貴団の方からのご支援を頂き、5月8日に第1回目の情報交流会を開催することができました。この時の模様は5月10日の中日新聞に紹介されました。情報交流会では各グループのマップ作りの進捗状況の発表や、新しく参加されるグループの紹介などが行われ、またCDP10に關係の深い方や、生物多様性に興味の方を講師にお呼びしてお話を聞く会でした。



「暮らしの中の生物多様性100選」の実施

2010年7月24日・25日

久屋大通公園にて

暑い中、大勢の方に熱心に写真を見て頂き多くの投票をいただきました。
有難うございました。



開催の中、CBCラジオ協力が7月24日と25日に於く久屋大通公園で行われ、COP10グリーンマッププロジェクトも1ブースを借りてアンケートの実施を行いました。
皆様方から頂いた、暮らしの中の生物多様性のスポット情報と、CBCラジオ



協賛「CBCグリーンマップ」で紹介された情報を全てパネルにして展示了しました。両場面頂いた方にはご覗いて顶くだけではなく、それそれ感謝深かった写真や、感心させられた情報を読んで頂くアンケートを実施しました。アンケートに参加頂いた方には、(株)アロマ工房のご協力により、多くの皆さんの中からお好きなものを選んでいただき、それぞれの皆さんを含めた質をお持ち帰りいただきました。アンケートの結果は以下の通りです。



CBCラジオ協力による展示とアロマさんの回答が振りました



【実施の様子とまとめ】

おかげさまで2日間で915名の方からの投票があり、総投票数は3000票を超過しました。
1枚に10種以上も記入してくれた方も珍られ、とても嬉しい中、みんな一生懸命、写真をコメントを読んでいただきまして、本当にありがとうございました。
いろいろな目標の暮らしの中にいる「生物多様性」を感じていただけたのだと思います。

各グループへの指導

小学生から大学生まで、今回のプロジェクトの特徴は、若い人の参加が多かったことです。



「COP10にグリーンマップで参加しませんか?」本プロジェクトへの参加の呼び掛けを、チラシ、ポスター、CBCラジオほか各種メディアを使って行い、多くの問い合わせをいただきました。その中で、マップ作成についての説明会を開いた学校(高校、大学ほか)やサークル、市民活動団体などには担当者から出向き、または当団体に連絡いただいたて、プロジェクトへの参加の方法やマップの作り方などを説明させていただきました。そして、説明マップを作ることになった時にも、マップづくりへの動意、サポートを行いました。多くのみなさまからお問い合わせ、マップづくりへのご参加、ありがとうございました。

実行委員会

2010年10月4日
CBC 2階会議室にて

様々な方面から委員が集まり、色々な思い抱負を話し合いました。



COP10開催も迫りました!10月4日、CBC放送センターの2階会議室を会場として第1回のCOP10グリーンマッププロジェクト実行委員会が開催されました。

当日は実行委員をお願いした皆さんにて会議をいたしました。

目標達成することの無いファンブルの方々とコミュニケーションを取ることができました。

モリコロパークでの 展示とワークショップ

2010年10月9日・10日・16日・17日・23日・24日
モリコロパーク芝生広場にて

グリーンマップにちなんだワークショップには順番待ちの子供たちの行列が出来ました。



イベント開催中、モリコロパークには毎日で約2万人の方が来場されました。

COP10開催に合わせ、COP10実行委員会が主催する、「COP10開催・交渉準備」をテーマとした「モリコロパーク」が、愛・地球博公園で開催されました。COP10グリーンマッププロジェクトは、「ござわいの里からござわいの町」をテーマに出展いたしました。

展示では優らしさの中の生物多様性のスマート情報の中から選ばれた座賞と、100語の特典を行いました。

また、ワープラ等での学生達が選ぶ選手などの大きな動画を持ち込み「選り出の場所」や「紹介したいポイント」にマークリングするワークショップや、サイコロにアイコンを付けてゲーム感覚で参加いただきました。ワークショップには約400の方に参加いただきました。



全国報告会【東京】

2011年2月4日・5日・6日・9日・10日
地政環境パートナーシッププラザ(GEOC)にて

休日にはグリーンマップ説明会も実施し、開催中1,300の方にご覧いただきました。



東京での展示は青山通りに面した国連大学の中においてます地政環境パートナーシッププラザのスペースをお借りして実施することとなりました。会期中、今回制作いたしましたひみつの材料を使い会場でのグリーンマップ説明会を実施し、ちょうど国連大学の前で当日開かれていた朝市に来ていた方に見ていただきました。またこの模様はGEOCウェブサイトで東海地方の方へも伝えられました。開催中1,300の方にご覧いただきました。

全国報告会【京都】

2011年3月18日・19日・20日・21日・22日・23日・25日
京エコロジーセンターにて

京都では1,660の方にご覧いただきました。

東京での既に競合開催では京都で実施致しました。会場は京都府の環境保全の活動の中心施設である、京(みやこ)エコロジーセンター。このセンターは、1997年12月に開館されました「地域退耕化防止緊急会議(COP3)」を契機に設立された施設です。グリーンマップが日本で初めて作られたのはCOP3の時、京都で作られたものでした。京都にはその時作られた京都のグリーンマップも参考出展しました。展示開催中に1,660の方にご覧いただきました。



COP10開催期間中の展示

2010年10月8日～24日
地域市民交流センターにて

「愛・地球博記念公園」内に新設された、地域市民交流センターの会場には連日大勢の方がかけつけました。



COP10開催をきっかけに、来場者の視点から、日々の暮らしや感覚をみつめ、「いのちのつながり」や「生物多様性」について考えてみようと多くのグループがグリーンマップづくりにチャレンジしました。期間中展示された、41グループのグリーンマップには、この活動に参加した人たちの、ユニークで多様な視点からの気づきや想いがぎりぎりされています。なんだかづかないところが、みえてくる!それがグリーンマップの魅力。開催中、来場者は投票用紙をお振りして、展示作品の中から最初に入り物を1つだけ、選んで投票いただけ、以下の「グリーンマップ10選」を決定しました。



[グリーンマップ10選] (エンターリ番号)

- ・にっしん市民環境ネット／東部圧搾・天白川いきものマップ(裏面)
- ・いきものの森(愛元野研究会)／奥三河の式原郷・いきものたち
- ・地域ネットラボ／グリーンマップ20COP10
- ・愛知県環境等学校 ディベート部／円鏡を円JOY!マップ
～低アリ2010とコラボした高校生による地域活性化活動～
- ・どまんNakajimaグリーンマップ／なんでもあり夢想性のある町、大須
- ・どまんNakajimaグリーンマイスターの島／公園の利用者達
- ・モリゾー・キッコロ黒山学校組／駿河自然探検隊
- ・グリーンマップせと／瀬戸の名水
- ・Kino Gakuen Setsuyama Conservation／豊城地区一守山の春を感じて～
- ・長久手街内の子どもたちと愛知県立大学コミュニティ・コラボレーションセンター／子どもたちと大学生の長久手わくわくマップ①

[利用者数]

展示期間中、約2000名の方からの投票と、多くの来場者のコメントをいただきました。みなさん、本当にありがとうございました。展示したマップと各自体へ寄せられた、暖かいコメントは以下のサイトでご覧いただけます。

http://halog.campain.info/a-mirai2/category_30/

COP10グリーンマップフォーラム つながりをつくり、つづける

2010年10月23日
岐阜市民交流センター
多目的室3にて

皆さんの思いを聞いたり、伝えたりするには時間が足りなくて本当に申し訳ありませんでした。

〈当日のスケジュール〉

- 10:00 開始
　主催者挨拶(藤原義之(社研)グリーンマッププロジェクト実行委員会)
　山口樹奈(総合財政係人セミナー・プラン担当課)発表報告(発表事務)
- 10:05 COP10 グリーンマッププロジェクト発表報告(実行)
- 10:15 フレゼンテーション(愛媛県)
　ウエンディ・ブランクワ(グリーンマップシステム・創設ディレクター)
　世界のグリーンマップ、そのインパクト
　<トーキング>ウエンディ・ブランクワ(世界のグリーンマップの入れながら)
- 11:35 一般登壇(藤原義之アシスタント)へ移動
- 11:45 ★ステージイベントの最後タイム。長久手の小学校の歌謡み阙。
　ウエンディ・ブランクワ(世界のグリーンマップシステム・創設ディレクター)
- 12:30 快晴
- 13:30 楽半開始
- フレゼンテーション(愛媛県)
　マルコ・クスマウイヤッカ(インペキシアグリーンマップ・ジャカルタ監修者ディレクター)
　インドネシアのグリーンマップ
　<トーキング>マルコ・クスマウイヤッカ(世界のグリーンマップの入れながら)
- 岐阜市事業者 フレゼンテーション
・石徹門社員桂子(グリーンマップアドバイザー)
・ハクキキャスティング(講師が大變)
・中村真吾(グリーンマップ実行委員会)まちびくらネットワーク
・田中裕子(グリーンマップアドバイザー)学生、大学・地域とのつながり
・丸山智男(植物園)植物園グリーンマップ、屋上緑化などのM
　<トーキング>藤原義之
　クリエイティブ学メンバー
　COP10スタッフ
- 18:40 終了、記念撮影



メディアとの協働 2010年4月5日スタート

※月曜から土曜まで毎日放送

CBCグリーンマップ

〈多田しげおの気分爽快!!朝からP・O・N〉で放送
月曜から金曜日まで毎朝8時15分~

CBC開局60周年事業にグリーンマップが採用されました。ラジオで放送されたエコな話題が、CBCのホームページ上のグリーンマップに毎日アイコンで表示されています。すでに、アイコンの数は200を越えました。

ラブ・ナゴ

〈広瀬隆のラジオで行こう!〉で放送
毎週土曜日 10時45分~

グリーンマップの説明や活動への呼び掛けを続けています。

【CBCグリーンマップ】



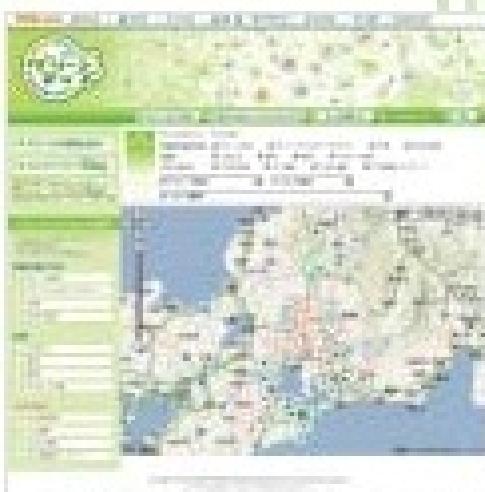
CBCは2011年秋に開局60周年を迎えます。60周年記念事業のひとつとして2010年4月より「CBCグリーンマップ」の放送を開始致しました。月曜日から金曜日までの毎日、毎8時15分ごろから「多田しげおの気分爽快!!朝からP・O・N」の中のコーナー枠で5分間放送しています。リスナーから提供された議題や、生き物、身近にあったエコな話題を毎日レポートドライバーが現場に行き地元の人々にインタビューしてエコな話題を探してくれないパートドライバー



レポートドライバーによる
現地の様子



中村友香、瀬川美穂、西浦未来子、奥田理恵、
西村実穂、尾崎由香、山田由梨奈



CBCのホームページ Hebo.com からお入りください

し生で放送しています。またCBCグリーンマップを表示するバージョンアドバイザーの日の豊島をCBCのホームページ上にあるグリーンマップにアイコンで表示しています。毎日アイコンが一つづつ増え、毎日CBCグリーンマップには200個以上のアイコンが表示されています。



丘田静子 多田しげお 古川裕子

【ラブ・ナゴ】

毎週、環境問題に取り組んでいる方、生物多様性・COP10に関係の深い方を呼びびして「なごや西の森づくり」の学生がインタビューする番組です。グリーンマップ新しいの方や、これまでにグリーンマップを作った経験のある方に、グリーンマップの説明や作って感じたことなどをお話をきき、同時に、活動への参加への呼び掛けを行いました。

CBCラジオでは、グリーンマップへの情報提供の呼び掛けのCMを作りスポットを繰り返し放送しています。



モリコロパークからの公開放送の映像

メディアとの共同イベントでグリーンマップ活動への呼び掛け

グリーンマップトークセッション
inモリコロパーク
2010年10月23日モリコロパークにて



- 平成22年度 なごや西の森づくり
- 第10回 植樹祭
- 2010年10月24日 戸田川緑地公園にて



ウエンディさん・マルコさんが出席して植樹イベントが実施されました。植樹を目的に訪ねられたエコマニーによる1万000本の苗木が用意され、二人も加わって植樹を行いました。



COP10の開催に合わせて実施された(COP10開催実施実行委員会)地域いきものEXPO in モリコロパークのステージで、グリーンマップの活動報告イベント「グリーンマップトークセッション in モリコロパーク」が開催されました。CBCレポートドライバーによります「CBCグリーンマップ」の説明、慶應義塾大学と長久手南小学校の学生さんの描画作業でのマップ作りの紹介がありました。

COP10グリーンマップに情

暮らしの中の生物多様性に応募してくれた人

312人

*2010年4月~7月15日までに応募いただいた方

皆さんから2010年7月15日までにCOP10グリーンマッププロジェクトに寄せられた「暮らしの中の生物多様性」のスポット情報と、CBCラジオのグリーンマップで放送された内容の全ての写真をパネルにし、7月24日・25日に行われた「CBCラジオ祭り」でアンケートを実施しました。(「暮らしの中の生物多様性100選」の実際の様子をご参考ください)

アンケートの結果を参考に、以下の審査員の方の投票の上、大賞、他各賞を決定いたしました。

【審査員】

COP10支援実行委員会事務局長 小林 寛司
COP10支援実行委員会アドバイザー 菊坂 勝
中日新聞社説委員 鹿児島 伸
鹿児島大学CCC講師 小西 伸美
中継日本放送(株) 石崎 啓司「気泡発泡リスッパー」開発、
グリーンマップ使いこなすアーティスト 中川 康子
NPO法人 地域の未来・活躍センター理事長 鶴原 審之



大賞

愛知県瀬戸市の愛知県立佐藤高校で「アヒル養殖」に挑戦、
生態系の活性化活動を続けていた
生物生化学 鳥飼浩之先生を始め学生の皆さん



COP10支援実行委員会事務局長賞

ここにこの森に入るだけで気温が数度は下がって涼しい、
街中の爽やかな風を教えてくれた
名古屋市昭和区 中村眞貴子さん



CBC賞

愛知県瀬戸市で古い植物を自分だけの新しい植物にする
リメイク物を教えてくれる「時代屋」を直撃してくれました
一宮市 小畠宏好さん



中日新聞社賞

150年以前からある、子供の遊び場くらいある大きな花を
つける桜をまちがひける
三重県伊勢市 中村喜代子さん



【投稿者リスト】

cc-T.G.H.M.Jack.mitiko.N&N.OKADAMA.あいりーん.
あさひのまい.あや.あんぬ.いと=ちゃん.うっかー.うめちゃん.
かだちゃん.かま子ん.かみちゃん.かむかー.かよ.くま.くらーはー.こーちゃん.さざ.さみ.しまむーん.しゅーべー.タッキー.
たまちゃん.ちよう.ともえ.なっちゃん.ばがー.ひーこ.ひーこ.
ヒココ.ひらんのん.ほんちゃん.マッキー.まよ.みっちゃん.
やまがー.ゆんゆん.わき.吉川富士子.山口利世.実里.
栗山果歩.栗山翼.石田祐也.栗原くん.栗原くん.栗山雄輝.
栗原健.北川ともみ.栗女っ子Juria.名城高校写真部.名城
高校写真部.かね.名城高校写真部.夢音.名城高校写真部.
鶴原貴史.鶴木雄太.毛利崇義火野ひまほか

【CBCラジオ グリーンマップにご協力いただいた方々・団体】

「御崎町役場まちづくり課」、「横断板を守る活動をしている人。花咲か前さん」、「アピタ千代田商店」、「岡ロッジ」、「萬之内町役場農業課」、「NPO法人ふるさと自然再生研究会」、「豊田市穴川研究会」、「岩崎里山の会」、「萩森建設」、「奥山植物園」、「愛知県警察本部駐車対策課」、「三重県水産研究所」、「グローベン株式会社」、「NPO HOMES(ホーミーズ)」、「「もったいない屋市」を始めた、豆腐店「八里屋(やさとや)」」、「環境省名古屋自然保護官事務所」、「土岐川駒駅」、「宮城市役所環境都市推進課」、「瀬田市立瀬田中学校」、「瀬戸市政課」、「庄内観光協会」、「種類を育む会」、「那須市観光協会」、「国土交通省三重川田河川事務所」、「三重大学学務部学生サービス課」、「各務原市立稚羽東小学校」、「瀬村観覧日本一を守る会」、「高山市役所地域政策課」、「株式会社アステス」、「社団法人丸山農林業公社」、「まちかど情報ステーション『美濃御町・町屋』」、「瀬村地区農湯保全活動組織」、「NPO手づくり文化普及振興会」、「田舎店エコエコ作業室」、「新城市立東郷蒙小学校」、「フェアトレードショップまなかまな」、「めづくり懇親会」、「愛見原町農林水産部農業課」、「株式会社磐原」、「合歓の舞」、「NPO法人木曾三川ごみの会」、「のうせき」、「豊田町役場農業課災害課」、「ECO CAFE KUNIYOSHI」、「瀬戸林業」、「日本モンキーセンター」、「和葉子処「かつのん」」、「そらまめ熱央台」、「NTT都電路面電車支社」、「リーフォーク駒見」、「届らいの家・晴野」、「三重県立柏高等学校生物系科」、「NPO法人中西リサイクル運動市民の会」、「秩守の会」、「君女さん・河村さん子」、「i-cafe」、「時代課」、「佐原高校生物生理解科」、「猪牧山を緑にする会」、「津島市役所土木課」、「篠跡作りの魔人」、「山川鶴鳴保存会」、「株式会社アベックス」、「株式会社ナゴヤキャッスル社長室」、「内安ダンス」主人「グリーンボランティア森林づくり三重」、「ゲストハウス美び」、「高岡市役所地域政策課」、「三重県宮川下水道課」、「穂積堂」、「NPO法人ななさとぐるー」、「多治見市土岐・穂积路」、「新城市立新城小学校」

Special Thanks

助成団体・協賛企業



森林資源と環境問題に関する会議
森林資源と環境問題に関する会議



矢作建設工業株式会社
矢作織所株式会社
株式会社ウッドピタ
株式会社ヤハキ総合化粧品会社

協力団体・企業一覧

- 愛知県立大学コミュニケーション・コラボレーションセンター
- ・(独)アロマ工房
- ・ウイラブナゴヤ協議会
- ・NPO法人 EXPOエコマネーセンター
- ・(株)学生情報センター
- ・(独)鬼怒印刷
- ・グリーンマップシステム
- ・NPO法人グリーンマップジャパン
- ・(株)クロスフィット
- ・(株)三光
- ・SUNPLAZA SEASONS
- ・(株)家庭通信
- ・studio-bakusaurus
- ・生態多様性愛知生物圏国際協力会議実行委員会
- ・(株)セカンドライン
- ・(株)セッティンターナシナル
- ・地域環境パートナーシッププラザ (GEP)
- ・地域市民交流センター
- ・チームマイナス10%
- ・中日新聞
- ・中部日本放送 (株)
- ・(有)テラ・プロジェクト
- ・(株)デンソー
- ・社団法人 日本アロマ健康協会
- ・(株)ネクストポイント
- ・(株)ノーネーム
- ・(株)森企画
- ・Eセンスフォーラム
- ・(有)ファイブセブン
- ・市ホテル ル ウエスト
- ・mi+kan
- ・原エコロジーセンター
- ・(株)ムラック
- ・(株)ムラヤマ
- ・ゆくりかレコード
- ・よこはまポートサイト・ステーション (独)港航

後援

- ・環境省中部地方事務所
- ・愛知県
- ・岐阜県
- ・三重県
- ・名古屋市

発行元

NPO法人地域の未来・志園センター

Tel:052-331-0141 FAX:052-339-5551
E-mail:office@minis.or.jp <http://www.minis.or.jp>
発行:2011年2月21日 緑色をグリーンアップしたい方